

函西新聞

令和6年度

学校祭号

9月12日(木)

【広報委員会】

前期委員長

3-6 濱 憲治

【執筆・編集】

各クラス

広報委員

【写真選定】

2年 広報委員

ショートムービー

今年のショートムービーは、どのクラスの作品も笑いが起きていて、見ていても楽しい時間を過ごせました。私たち2年2組は、人気ゲームを実写で再現した作品を制作し、全校生徒からの投票で1位を取ることができました。撮影チームのメンバーはもちろん、協力してくださった先生方にも感謝しかありません。僕の得意分野である動画編集を活かすことができたのも、みんなのアイデアがあったからこそだと思います。とても楽しい時間をありがとうございました!!

(2年2組 永澤伸基さん)

学祭本番の1ヶ月程前からアイデアを捻り出してきたショートムービー。なかなか良い案が思いつかず、行き詰まる場面もありました。だけれど、クラスメイトと話し合っって完成へ繋いでいけると思えば戸惑いさえも楽しく思えました。撮影に参加してくれたメンバー、編集を担当してくれたメンバー。全員頼もしかったです。そして結果は3位。クラスメイトと手を取って喜びました。自分たちで作上げた事が評価されたのは率直に嬉しかったです。高校生活の良い思い出の1コマになりました。

(3年3組 谷内田晴さん)

仮装パレード

私たち3年次生は最後の学校祭で、そのイベントの一つのパレードを全力で楽しみました! 3年次生は制作したオブジェを担いで歩くのですが、私のクラスでは、男子が交代しながら仲良く担いでいて微笑ましかったです! 観光客やお店の方々、保護者のみなさんに手を振りながら歩き、楽しいパレードでした。空は曇っていてジメジメとしましたが、生徒たちは晴れやかな笑顔でした!

(3年1組 太田悠月さん)

パレードではクラス同士でまとまり、街を歩きました。それぞれのクラスがクラステーマに沿った仮装をしたり、学級旗を掲げて歩いていて、クラスごとにいろいろな個性があつて面白かったです。僕らのクラステーマは「昭和」で、昭和の時代にタイムスリップしたかのような仮装をして歩いている人もいました。学級旗は昭和を意識した、いかつくとてもカッコいいものでした。クラスメイトと一緒に歩き回れて楽しかったです。今回のパレードは僕にとっても思い出に残るものとなりました。来年もまた楽しいパレードにしたいです。

(1年2組 外崎友正さん)

つゝじヶ丘祭 2024 西瞬祭~この瞬間を全力で楽しもう!~



仮装コンテスト

つ、じヶ丘祭二日目、仮装コンテストが行われました。そして僕達のクラスは一位をいただくことができました。そして僕は衣装の責任者なわけですが、責任者だからどうかなくみんなで頑張った一位だと強く思っています。3年6組に感謝するとともに、改めて3年6組が大好きです。

(3年6組 濱憲治さん)

私たちのテーマは「北辻部隊」でした。上手く北辻部隊になりきるために迷彩柄の布を使って、仮装コンテストに挑みました。

また、衣装製作に携わってくれた人たちも衣装を一生懸命作ってくれました。本番でのパフォーマンスでは、銃を持ち、匍匐前進をしました。ステージに出た瞬間、歓声と拍手が飛び交い、舞台に出た人、衣装製作をした人たちにとっても嬉しい瞬間でした。

今回優勝することはできませんでしたが、クラスの団結力が高まったと感じました。最後に、なにをしちよるん。

(2年4組 工藤琴弓さん・吉元結惟さん)



合唱

私たちのクラスは「スパークル」を歌いました。最初はまとまりもなく、揉め事などもありました。しかし学校祭の放課後準備2時間を合唱練習に費やしたり、良い合唱になるようにアドバイスを出し合ったりして練習を重ねることでだんだんみんなの想いが1つになっていったと思います。合唱コンクール本番も笑顔が絶えず、楽しい2年1組らしい合唱を披露することができました。指揮者、伴奏者、全員の合唱で得られた優勝だと思います。

(2年1組 川本美羽さん・大川愛華さん)



私たちは「証」を合唱で歌いました。今まで「証」を歌ったことがなく、曲や歌詞を知らない人もいましたが、パートごとの練習などで曲を知っている人と一緒に歌うことで音取りなどをして歌詞や音程を覚えていくことができました。パート練習では、それぞれのパートとは違うパートの音楽を流して、つられないように練習をしました。全体を通して歌うときは指揮者を中心に、特に気をつけたポイントや「この音楽記号はこういう意味なので、こうした方が良い」などと、意識した方が良いところを全員で共有しました。そういったアドバイスをもとに、何度も全員で合わせて歌いました。結果、合唱で入賞でき、全体で2位をとることができたので、心からうれしく思います。

(2年5組 増川莉央さん)



アミューズメント

つ、じヶ丘祭でのアミューズメントは、今年もどのクラスもクオリティが高く、全校生徒はもちろん、足を運んでくださった方々も楽しまれました。誰でも楽しめるカジノや、脱出ゲーム、お化け屋敷や写真スポットなど、それぞれのクラスのこだわりがとても感じられました。私達のクラス、2年6組の脱出ゲームは行列ができていてとても嬉しかったです！ 来年も西高らしい学校祭ができるように精一杯頑張ります！

(2年6組 駒嶺桜子さん・出雲天心さん)

僕たちのクラスはアミューズメントを担当しました。初めての学祭だったというのもあり、緊張しながらの作業スタートとなりました。

最初は方針がなかなかまとまらず担当者としても危ういと感じてしまいましたが、それを乗り越えて残りの僅かな期間でアミューズメント制作担当のみなど協力しながら制作を進めていきました。

当初はそこまで人が入らないんじゃないかなどの不安な点はあったのですが、それも見事に乗り越えて年次でも上位の人気で沢山の方に楽しんでいただきました。

感想としては、みんなと協力してここまで来れたという感謝と、責任者としてやりがいのあるアミューズメントに仕上げることでとても嬉しかったということです。この学校祭で培った経験も大切にしてこれからの学校行事や日々の諸活動にも良く生かしたいと思いました。最高のアミューズメントにできて本当に良かったです！

(1年4組 金本磨栄さん)

今年度のつ、じヶ丘祭を終えて感じたことがあります。それは、「何事にも自分から取り組まなければいけない」ということです。自分が受け持つ仕事や、人を動かす時には自分から手伝って、自分から声をかけなければ物事は何も動かないことを痛感し

ました。準備期間では、うまくいかないこともありましたが、このクラスで学校祭を楽しめてよかったと思います。(1年3組 山崎桃佳さん)

今年度の学校祭3日目の一般公開の日は各クラスでアミューズメントや模擬店などを行いました。1年次のアミューズメントでは、フォトスポットやお化け屋敷、謎解きなどを行い、学校祭を盛り上げました。自分も生徒のみならず一般のお客さんにも楽しんでいたのでとても良い学校祭になったと思います。(1年6組 工藤央雅さん)



模擬店

私達3年2組は模擬店でフルーツポンチの販売を行いました。注意事項が多い中、作るもの・原材料・購入先・作り方・費用など全て先生のアドバイスをもらいながら自分たちで考えました。そして迎えた当日。販売に対して作るのが間に合わなかったり、連携が上手に取れなかったりと初めての経験が多いため、ハプニングもあり大変でしたが、クラスみんなのおかげで大成功で終わることができました！ありがとうございます！！

(3年2組 高田玲奈さん)

今回の学校祭では1年次はアミューズメント、2年次はアミューズメントか模擬店、3年次は模擬店という形で行われました。私達のクラスではボックスチュロス Churros Time さんから取り寄せ販売しました。前売り券も予想を上回る程売れ、当日券も開始1時間程で売り切れ大人気でした。当日販売ではソースをかけ放題にしたことで行列ができてきたり、先生がクラスプレーをこぼしたりとハプニングがありましたでしたが楽しくできました。

(3年4組 横山春輝さん)

有志発表

今年度の有志発表では、たくさんの方が体育館に集まり、昨年以上の盛り上がりを見せました。計15組の発表が行われ、飛んだり踊ったり聴き入ったり、会場が1つになって、最高の雰囲気の中で行うことができて本当に良かったと思います。めちゃくちゃ楽しかったし、最高でした。一生の思い出です。

(3年5組 中澤桜雪さん)

学校祭3日目では有志発表があり、生徒や先生などがバンドを組んだり歌を歌ったりそれぞれの発表をしました。

実際に有志発表をした人からは、「自分に自信が持てるようになった」、「みんなが盛り上がりたてくれるとこっちも楽しくなって最高だった」と聞きました。

有志発表を見ている人も、発表している人も、会場がひとつになってみんな楽しんでいました。

(1年1組 小山内愛心さん)



開閉祭式

つ、じヶ丘祭最初のセレモニーが開祭式です。みんなの士気が上がるように、生徒会長の五十嵐先輩が音頭を取って盛り上げてくれました。一年次、二年次の声の大きさもすごかったですが、やっぱり一番迫力があつたのは三年次の声でした。最後に、「盛り上がるのはいいけどね。ハメを外してケガだけはしないように。」という古御堂校長先生の大事な忠告で、みんなの気が引き締まった気がします。

(1年5組 松川颯さん)

「ルネッサンス！」という始まりと終わりを起こさせた魔法の言葉がとても印象的であつた学校祭。なぜなら、最初の合唱コンクールの緊張をほぐしてくれ、最後では終わったと感じさせるものだったからです。今年の学校祭は去年よりもすごく楽しいことがたくさんありました。私はほとんど裏方でしたが、表で楽しんでいる生徒の人たちを見てるとこっちも楽しくなりました。来年はどうなるかはわかりませんが、今年以上の盛り上げをして、「最高」を更新したいです。

(2年3組 鈴木巧乙さん)

編集後記

今年度のつ、じヶ丘祭では遂に模擬店などが開催され、去年よりも拡充したイベントとして色々な事が思い出に残っていることだと思います。その思い出をこのような函西新聞という形で残せたらと思っております。また、校外に西高の良さを伝えることのできる貴重な機会だったと思います。皆さん本当にお疲れ様でした。

(3年6組 濱憲治さん)